

Q&A

住みたいまちたつの実現するための たつの市政の現状と未来への展望について



角田 勝 議員

MASARU TSUNODA



- 問** 未だ収束の気配を見せないコロナ禍について、引き続きどのような取り組みを考えておられるのか。
- 答** 3回目接種については、速やかに実施できるよう取り組んでいく。また、児童、園児への感染予防対策のためのPCR検査キット等も検討している。
- 問** これまで実施された行政改革は。
- 答** 市民病院の地方独立行政法人化、下水道使用料の改定を実施した一方、公共施設の再編、赤とんぼ荘の営業休止等維持管理コストの削減に努めた。
- 問** 子育て施策の更なる充実について
- 答** 給食費無料化は、小学校、幼稚園・保育所・こども園までの拡充を、医療費の無料化は、高校生までの拡充を、財源を確保した上で実施する。

- 問** 教育環境設備の整備計画について
- 答** 来年度以後、未設置の図書室、技術室、家庭科室等の空調設備の設置を計画的に進める。
- 問** 高齢者施策の更なる充実について
- 答** 健康長寿化事業を積極的に推進する。
- 問** 仮称たつの版パラリンピックの開催について
- 答** 実現可能な方策を検討していく。
- 問** 御津地域への体育館等運動施設の整備について
- 答** 公共建築物再編実施計画に沿って検討していく。
- 問** 地域の特産品への支援について
- 答** 地域産品の付加価値を高める施策を展開する。
- 問** JR山陽本線の周辺整備及び新大橋の架橋について
- 答** 新駅の設置は、社会情勢の動向を見極めた上で検討したい。跨線橋の整備は、国、県へ要望していきたい。新大橋の計画は、市の活力を生む源であるという認識のもと検討していきたい。

Q&A

子育て支援・教育環境整備・定年延長について



三木 浩一 議員

KOICHI MIKI



- 子育て支援について**
- 問** 高校生の医療費の完全無料化と小学校・幼稚園・こども園の給食費無料化の今後の方向性を伺う。また、子育て応援センターの活動の現状と相談員の充実について伺う。
- 答** 高校生の医療費を全額助成するには6千万円が必要と試算しており、小学生及び就学前児童の給食費無料化には、2億5千万円が必要となるが、いずれの場合も財源の見通しが立てば段階的に実施する。
- 子育て応援センターの相談員の内3名が児童福祉司の資格を持ち、相談に対応している。また、解決が困難なケースは、外部の専門家に指導助言を受けている。
- 教育環境整備の充実について**
- 問** 特別支援学級の支援員の実態に合った拡充と老朽化校舎や

- 体育館の計画的な改築計画の策定と財源の確保について伺う。また、小中一貫教育の推進のための義務教育学校設置について伺う。
- 答** 支援を必要とする児童生徒が増加する現状から、加配の必要性は認識している。県等にも増員を働きかける。エレベーターは、今年4月の法改正で、2千㎡以上の新築・増築の際には設置が義務付けられた。今後の校舎の建替え、大規模改修時に設置していく。雨漏り対策として、御津中学校体育館は修繕に取り掛かっている。大規模な修繕が必要な施設については、屋上防水対策等に計画的に取り組む。大規模改築については、整備計画策定に向け検討している。なお、緊急性の高いものについては、随時補正予算などで早期対応に努めていきたい。小中一貫教育を効果的に進めるためには、小中一貫校が有効な形態であり、理想と考えられる。統合後の校舎建築も想定されるので、今後検討していきたい。
- その他の質問事項**
- 定年延長と再任用について